

このあいだの入試の小論文のテーマ、 地球沸騰化 だったよ

「あまい知らなくて、まともに書けなかった」
「それ、ちょっとやばくない？」

地球温暖化が進むいま、社会がそれに合わせて変わり始めているいま、
地球温暖化問題は『常識』『必須の教養』です。
大人の世界に進む準備として、学び、考えよう！

自然科学（地学、物理）、公民、社会経済など、幅広い分野にまたがる問題です。
他の人たちのいろいろな考え方を聞くことも、とても大事だし、役に立ちますよ。

第一部：話題提供（60分）

地球温暖化の現状と将来予測

講師：保坂 征宏 氏（気象研究所）

一質問にお答えしながら 丁寧にお話ししますー



第二部：わいわいワークショップ°

(50分)

- 地球温暖化についてもっと知りたいこと
- 地球温暖化をくいとめるために身近なところ、より大きな社会の中でできること などなど、みんなで話そう。



「地球温暖化について話そう！」

日時：2024年9月28日(土) 10:00 - 12:00

※要事前申し込み

※定員20名に達し次第締め切ります

場所：co-en (つくばセンタービル1階)

参加費：資料代 200 円 (こども・学生無料、ドリンク付き)

お問い合わせ：穏やかな地球環境を守る会

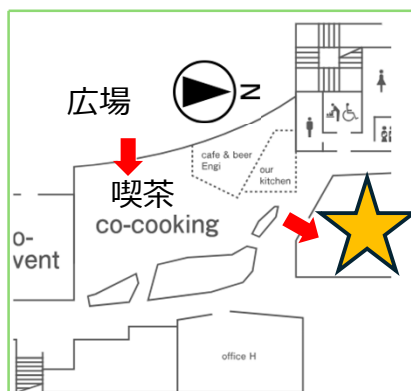
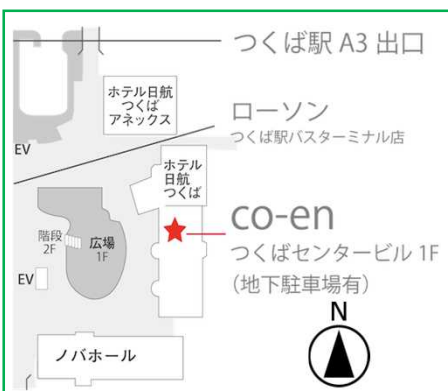
tamariba2024@gmail.com

学生のみなさん、
大歓迎！

申し込みは
メールか、
こちらから⇒



<https://forms.gle/thm7oa4D5SinQHRP6>



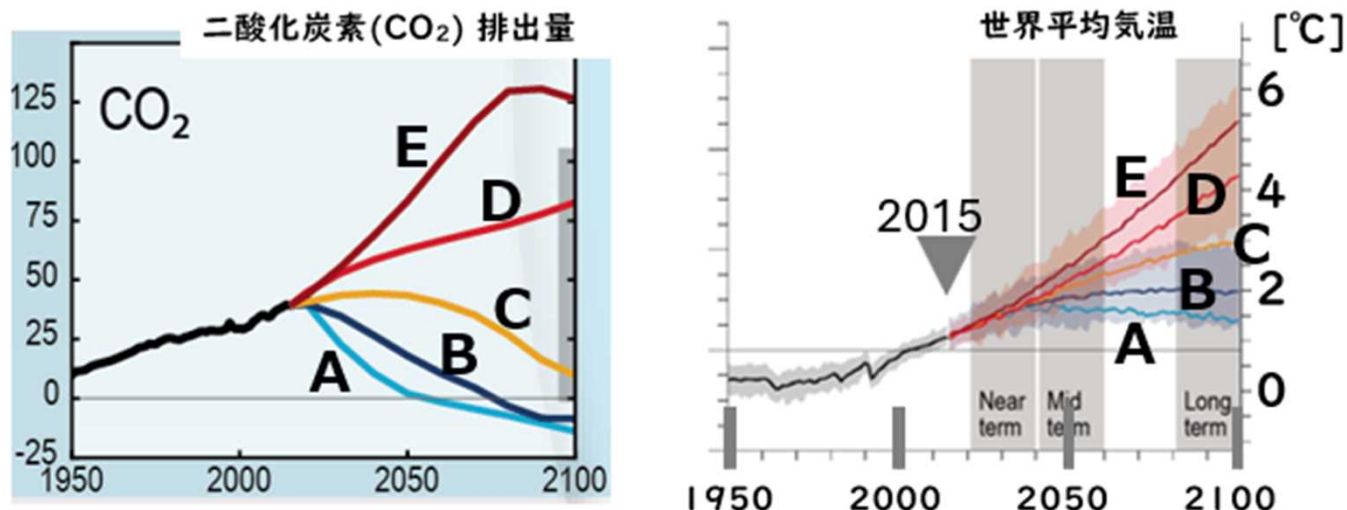
メールには必ず返信します。
2日間返事がない場合、
お手数をおかけしますが再送してください。

本イベントの説明は
こちらから⇒



<http://climate.ie-t.net/Tamariba/>

地球温暖化の予測



人間活動による CO₂ 排出量（単位 Gt-CO₂）と、工業化前を基準（ゼロ）とする世界平均気温計算結果の変化。CO₂ 排出量は、1950-2015年は観測。CO₂ の将来の排出量変化はわからない。そこで2015-2100年については、対策の強さ別に A～E の5つのシナリオ（案）を作り、それらを使って気温を予測した。

IPCC AR6（気候変動に関する政府間パネル、第6次報告書）より。

この資料から読み取れること：

- これまで、CO₂ の排出が増え続け、気温が上がってきた。
- 今後 CO₂ の排出を急激に減らし 2050 年にはゼロになる対策 (A) がとられれば最大1.5°C 程度の気温上昇で止められうるが、怠ると (D, E) 今世紀末には 4°C 以上の上昇になるかもしれないと予測されている。
- ✓ A, B からは、排出がゼロになれば（ゼロカーボン）ようやく気温の上昇が止まることが見て取れる。つまり、ゼロカーボンに近づかない限りは地上気温の上昇・地球温暖化は止まらない。

近年目立つこと：異常な高温（熱中症の増加）、大雨・洪水、。。
まだおよそ1°Cしか上昇していないのに。



地球温暖化を止め、環境の悪化を防ぐためには、一刻も早く世界の温室効果ガスの大気への排出をゼロにするしかありません。

それには、市民を含む、社会全体の変化（社会変容）が必要です。

地球温暖化はこれまでどう進み、将来どうなるのでしょうか？
社会は、どのように取り組みつつあるのでしょうか？
私たちにはできることは？ 何をしたらどれだけ CO₂ 排出を減らせるのでしょうか？
集まって、一緒にまなび、考えませんか？

キーワード：地球温暖化、適応策・緩和策、SDGs（持続可能な開発目標）